



自衛隊栃木地方協力本部

秋の味覚が揃う『もてぎうまいもの市』で自衛隊広報展を開催 ～母親世代に『自衛隊飯・レシピ集』配布でアプローチ～



自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所(所長 古川3陸佐)は、11月3日(日)、栃木県茂木町で開催された毎年恒例の『もてぎうまいもの市』で自衛隊広報ブースを出展した。

当日は秋晴れの晴天に恵まれ、地元のご当地グルメや特産品が沢山並び、多くの来場者が訪れ大盛況であった。自衛隊広報ブースでは、東部方面特科連隊第2大隊の支援による11/2tトラック及び1t水タンクトレーラの装備品展示や自衛隊家族会主催による自衛隊グッズ販売が来場者の人気を博していた。また、家族連れに向けたミニゲーム「輪投げ」などを行った。来場者は自衛隊の珍しい車両に乗り込み、その迫力と機能性に驚く声を上げていた。来場者に1t水タンクトレーラが、災害時にどのように活動するか説明すると「緊急時は迅速に水を提供できることが求められると思います。自衛隊の重要な任務の一部を担っている車両について学ぶことができました」と感想があり、来場者に車両機能と重要性を理解していただく機会に繋がることができた。また、「うまいもの食」という切り口から、自衛官の日常的な食事を通じて自衛隊の魅力新たな視点から紹介することを目的に、『自衛隊飯』を取り上げ、陸自飯・艦飯・空自空上げの紹介と特選レシピ集を作成し配布した。特選レシピ集は特に女性の来場者が興味を持ち、「TV番組で度々紹介されているのを観たことがあります!自衛官の屋敷に興味がありますね」「面白くて興味深いですね。レシピを参考にして家庭でも作ってみようかな」などの声があり好評を得た。

真岡募集案内所長は、「近年、自衛隊への進路を考える若者にとって、特に母親の意見が大きな影響を与えることが明らかになっていると感じる。そこで、母親世代が自衛官と触れたり、手に取った『自衛隊飯レシピ集』を通じて家族で自衛隊に関する話題を共有し、レシピに記載されているウェブサイトにアクセスして自衛隊活動について知識を深め、自衛隊に親しみを抱ききっかけになることを期待したい」としている。

